



中川河川敷周辺公園等 施設整備計画《概要版》

花めく やしおの中川

多様な市民活動による
健康づくりのゾーン



令和 6 年 3 月



八潮市

1 計画の概要

(1) 目的

中川河川敷周辺には、現在、大瀬運動公園、中川やしおスポーツパーク、中川やしおフラワーパーク、中川やしお水辺の楽校、下河原運動広場といった公園・屋外スポーツ施設及び観光施設が整備され、多くの市民やスポーツ団体に利用されています。

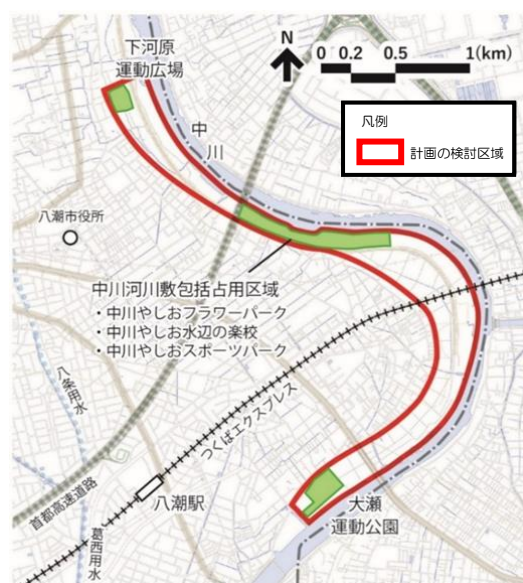
今後、中川河川敷周辺区域において、公園等の施設整備や、スポーツ・レクリエーション活動などによる、資源の有効活用とにぎわいの創出を図るため、計画区域の基本方針を策定するとともに、老朽化が進む市内全域の公園等施設にある屋外スポーツ施設の課題等を整理し、その結果を踏まえ、早期整備施設として大瀬運動公園及び下河原運動広場の基本計画を策定することを目的とし、「中川河川敷周辺公園等施設整備計画」を策定するものです。

(2) 計画の検討区域

「大瀬運動公園」、「中川河川敷包括占用区域」、「下河原運動広場」を結ぶ中川河川敷周辺の計画を検討する区域（右図）とします。

(3) 計画の位置付け

本計画は、「第5次八潮市総合計画」、「八潮市都市計画マスタープラン」などの上位計画や「八潮市スポーツ推進計画」、「八潮市緑の基本計画」などの分野別の計画と整合を図り、計画区域における公園等施設整備計画として位置付けます。

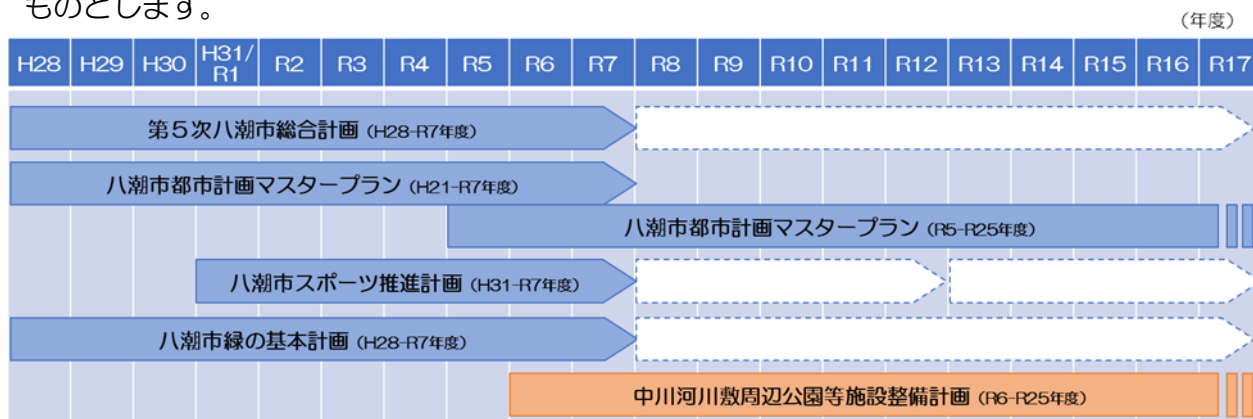


計画区域図

(4) 計画期間

本計画の期間は、令和6年度から令和25年度（概ね20年間）とします。

なお、計画期間内であっても上位計画や社会経済状況の変化等を踏まえて柔軟に対応していくものとします。



2 現状と課題

市内には都市公園が79箇所あり、都市公園以外の公園が33箇所、公園等にある屋外スポーツ施設が13箇所あります。

これらの施設は老朽化が課題となっていると共に、市民ニーズに対応した公園への再整備等への検討が必要となっています。



《大瀬運動公園》
野球場 2 面



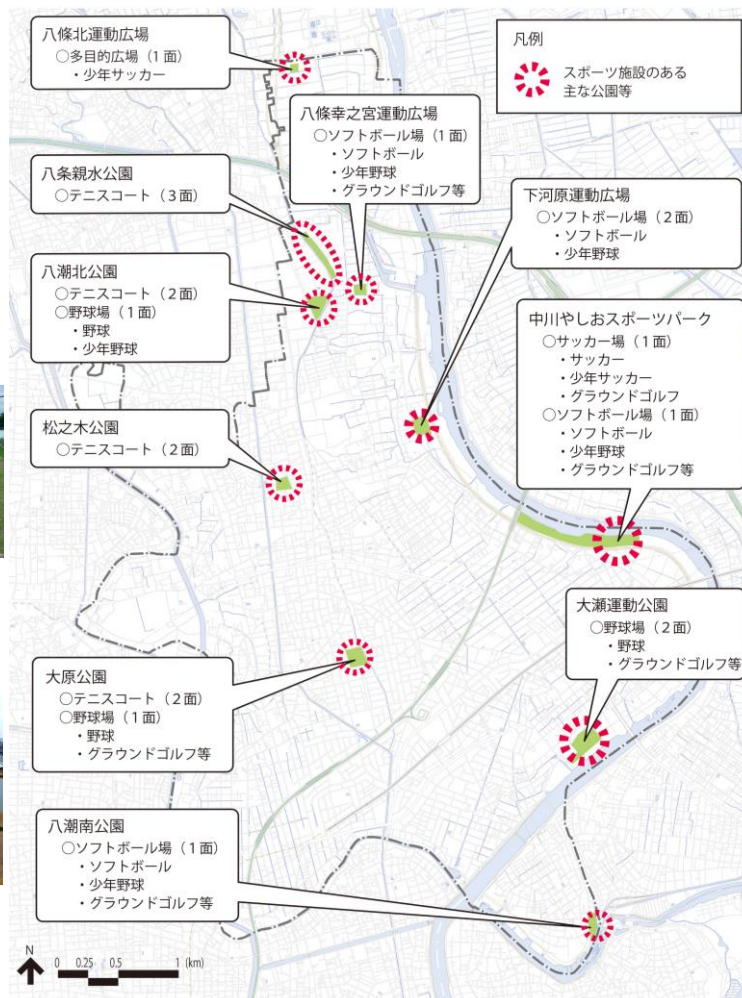
《下河原運動広場》
ソフトボール場 2 面



《中川やしおスポーツパーク》
サッカー場 1 面



ソフトボール場 1 面



屋外スポーツ施設を有する公園等配置状況図

計画区域及び計画区域周辺の公園等施設の利用状況、並びに施設利用者等からのヒアリング結果等を踏まえ、現在の課題等を整理しました。

分類	課題の内容
公園 施設機能	- 施設の老朽化への対応、公園機能の確保 - 日陰のある休憩施設（ベンチ等）の整備 - 多目的利用広場（軽運動、イベント開催、キッチンカー、バーベキュー、防災訓練などが実施可能な空間）の確保、整備 など
屋外 スポーツ 施設機能	- 施設の老朽化による改修、集約化等の検討 - 市街地内に設置される施設における騒音、砂埃、光害等への対応 - 十分な広さ（公式規格）を備えたグラウンドの確保、整備 - 日陰のある休憩施設（ベンチ等）の整備 など
堤防利用 アクセス性	- 連続した遊歩道の整備や、日陰のある休憩施設（ベンチ等）の整備 など - 中川河川敷包括占用区域までのアクセス性の向上 など
防災機能	防災ヘリコプターの臨時離着陸可能空間の確保の検討 など
イベント利用	- 民間事業者も利活用可能な施設整備 - 本計画地を活かしたイベントの創出
その他	- ランニング、ジョギングコースの整備 - 自転車の利活用や、スケートボード場の整備 など

3 計画区域の将来像及び基本方針

課題等を踏まえ、今後の事業実施に必要となる計画区域の将来像及び基本方針を定めました。

(1) 将来像

花めく やしおの中川
多様な市民活動による
健康づくりのゾーン



(2) 基本方針

①市民の健康づくりを支える空間づくり

大瀬運動公園は「Sports 拠点」として、市民の健康づくりを支える場となるように、野球等のスポーツのほか、気楽に健康づくりに取り組める場を整えます。

②多様な活動ができる空間づくり

下河原運動広場は「Activity 拠点」として、アーバンスポーツなどの新たなスポーツの施設整備を検討します。

③周遊性などを活かす空間づくり

中川河川敷包括占用区域は、「Recreation 拠点」として、施設の充実や中川の水辺活用により、イベント等の開催などを推進し、観光地としての発信力を強化します。

④協働で魅力を高める空間づくり

「花×みどり×水」あふれる空間の魅力向上を図り、産学官民の連携や民間活力等の導入による取組みについて検討します。

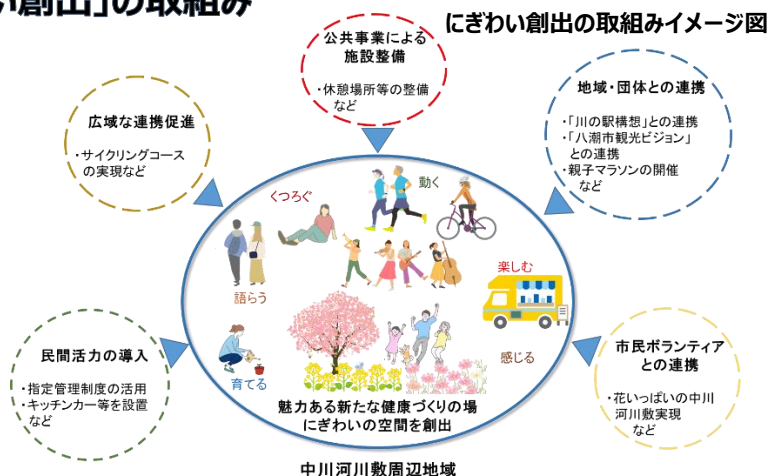


各拠点等位置図

4 計画区域におけるにぎわい創出

(1) 本計画区域における「にぎわい創出」の取組み

中川河川敷周辺においてにぎわいを創出するため、公共事業による施設整備といったハードの部分と民間活力の導入等のソフトの部分の組み合わせることにより実現を図ります。



(2) にぎわい創出ゾーニング図

① 水辺自然空間

- 中川河川敷に豊かな自然林やヨシ原が広がるため、カブトムシ等の生物が生息する環境を保全するとともに、自然観察等の利活用について検討します。



新堤防沿いの自然林



自然林内部

レクリエーション

② Recreation拠点

- 新たに自然環境や周辺地域を知ってもらう仕組みづくりの構築、施設の充実や関係団体等との連携によるイベントの開催等、河川敷の利活用の促進を図ります。



花桃まつり



自然観察会（イメージ）

③ 中川周辺地区優良農地

- 中川沿いに市内の原風景である農地が広がるため、良好な農地景観として保全します。



旧堤防沿いの農地



新堤防沿いの農地

④ 遊歩道等空間

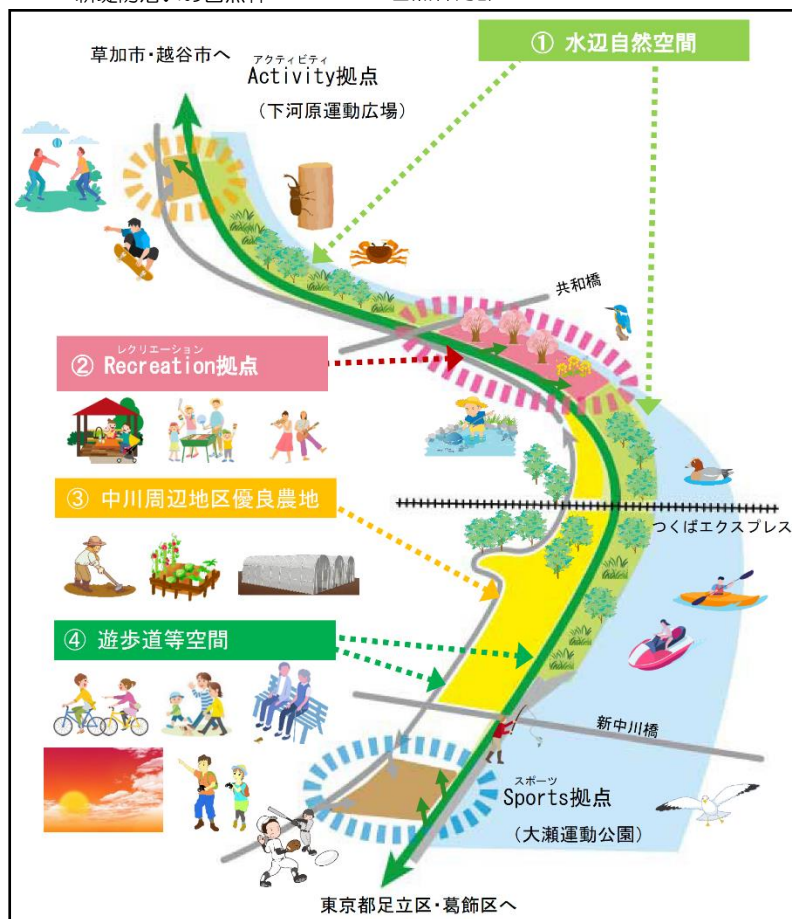
- 中川新堤防を新たな観光資源として捉え、サイクリングコース等の整備を検討します。
- 中川旧堤防周辺は地域の原風景が広がり、夕日などの眺望が美しいため、やすらぎのある癒しの空間づくりを検討します。



新堤防(中川方面)



新堤防からの夕日



5 市内屋外スポーツ施設の基本方針及び各拠点の整備方針

(1) 市内屋外スポーツ施設の基本方針

① 全体の方針

- ・現在の施設数を維持することを基本とし、集約化や新たな適地への移転等についても検討します。
- ・ユニバーサルデザイン等のトイレ、日影となる休憩施設等、必要な施設整備を検討し、公園の改修の際には、屋外スポーツ施設の配置や規格等について検討します。
- ・施設利用者のヒアリング結果等から、市民が求める新たな活動（アーバンスポーツ等）について、河川敷周辺の公園等を活用し整備を検討します。

② 各施設の基本方針

		公園・施設名	施設の基本方針
都市公園	近隣公園	八条親水公園 テニスコート	・施設の機能維持に必要な維持管理を行う。 ・改修の際は、コート面、フェンスの老朽化などを踏まえ、整備内容を検討する。
		八潮北公園 野球場、テニスコート	・施設の機能維持に必要な維持管理を行う。 ・改修の際は、騒音問題、野球場の規格寸法不足等を踏まえ、施設の配置、整備内容（代替施設等含む）を検討する。
		大原公園 野球場、テニスコート	
		松之木公園 テニスコート	・施設の機能維持に必要な維持管理を行う。 ・改修の際は、施設の配置、整備内容（代替施設等含む）を検討する。
		八潮南公園 ソフトボール場	・施設の機能維持に必要な維持管理を行う。 ・改修の際は、グラウンドの雨水排水不良、トイレの衛生面などの課題を踏まえ、整備内容を検討する。
都市公園以外の公園	運動公園	大瀬運動公園 野球場	・施設の老朽化や、規格寸法の不足等の課題があるため、施設の配置、整備内容について検討する。
	運動広場	八條幸之宮運動広場 ソフトボール場	・利用状況などを踏まえつつ、引き続き機能維持に必要な維持管理を行う。
		下河原運動広場 ソフトボール場	・多様な活動が出来る機能の整備やトイレの衛生面などの課題を踏まえ、施設配置等を検討する。
		八條北運動広場 多目的広場	・市内で唯一の天然芝が敷設された施設として、天然芝の特性に留意しながら、必要な維持管理を行う。
その他	運動広場	中川やしおスポーツパーク サッカー場	・利用状況を踏まえ、施設の機能維持に必要な維持管理を行う。 ・利用者の需要に応じた施設整備を検討する。
		中川やしおスポーツパーク ソフトボール場	

※公園の改修時期については、市内屋外スポーツ施設の整備状況や市の財政状況を踏まえながら検討していきます。

(2) 各拠点の整備方針

計画区域の基本方針や市内屋外スポーツ施設の基本方針を踏まえ、各拠点の整備方針を定めました。

《整備方針》

《イメージ》

①大瀬運動公園 (Sports 拠点)

- 野球等のスポーツが出来るほか、市民が気軽に運動や活動が出来る環境を進めるため優先的に整備します。
- 施設の老朽化や、規格寸法の不足等の課題があるため、施設の配置、整備内容について検討します。
- 災害時の防災活動や避難場所等の防災機能を整備します。



野球場



屋根付き休憩施設

②下河原運動広場 (Activity 拠点)

- 市民の多様な活動に活用できる場を優先的に整備します。
- 誰もが利用しやすい空間やアーバンスポーツなどの新たな屋外スポーツ施設の整備を検討します。
- 多様な活動が出来る機能の整備やトイレの衛生面などの課題を踏まえ、施設配置等を検討します。



多目的広場



スケートパーク

③中川河川敷包括占用区域 (Recreation 拠点)

- 関係団体等と既存施設を活用したイベント等の開催などを推進し、更なる施設の充実や中川の水辺を活用した各施策が展開されるよう促進します。
- 水辺利用が促進される水辺整備や緊急時の水上交通、輸送の確保を検討します。
- 中川やしおスポーツパークにおいては、利用者の需要に応じた施設整備や維持管理を検討します。



バーベキュー



マルシェの開催

④遊歩道等

- 中川新堤防や旧堤防の活用により、周遊性を活かしたウォーキングやジョギングコース、サイクリングコース等の構築に向けた取組について検討します。
- 国土交通省は、河川とまちの賑わいある良好な空間形成、埼玉県は、サイクルツーリズムの推進、東京都は、自転車によるアクセスがしやすい環境整備を目指していることから、計画区域内だけではなく、周辺の自治体等と広域的な連携を検討します。



サイクリングコース



休憩施設

6 早期整備施設の基本計画

大瀬運動公園、下河原運動広場の整備方針を踏まえ、動線計画・ゾーニング（案）を作成しました。また、中川河川敷包括占用区域や遊歩道等の整備方針を踏まえ、早期整備施設（案）を作成しました。なお、今後の設計や意見交換等の実施により変動が生じます。

(1) 大瀬運動公園

①コンセプト

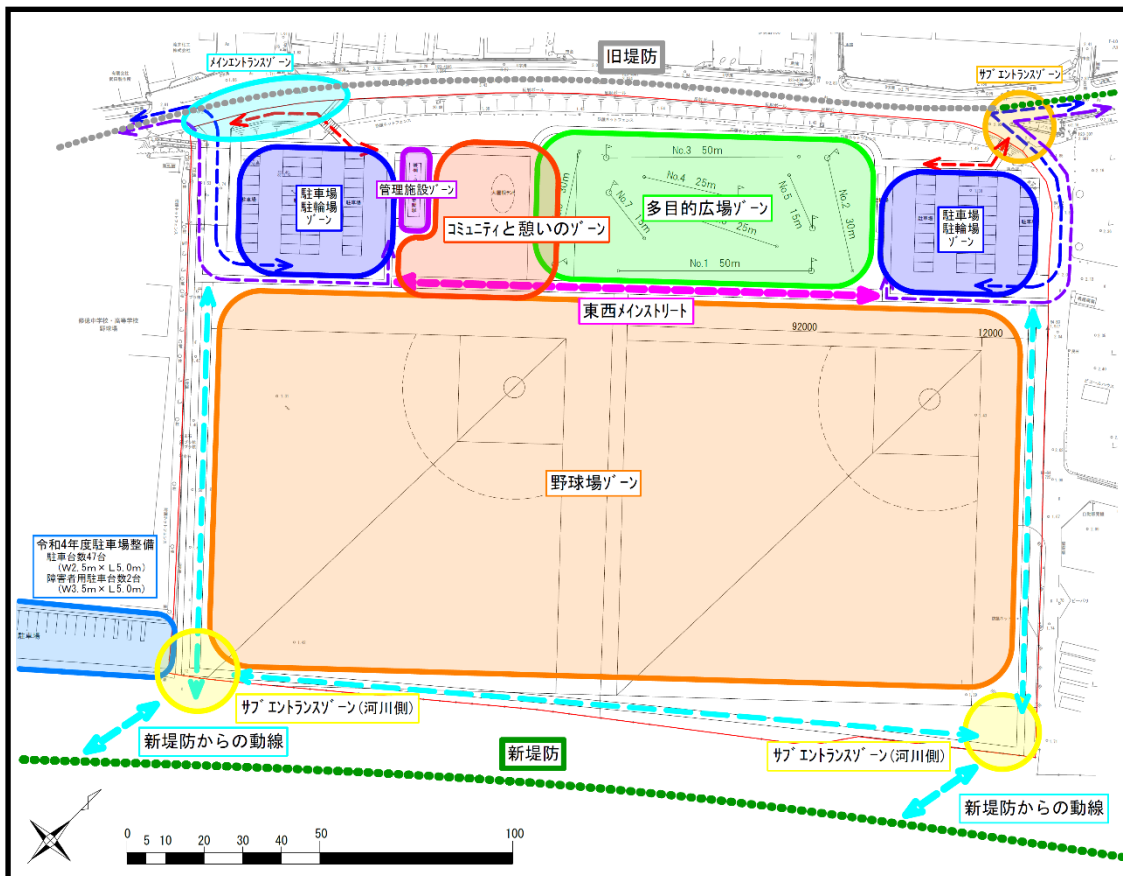
日常のコミュニティ活動や憩い・遊び・運動、競技スポーツに対応した「Sports 拠点」づくり

②整備方針

- ・スポーツ交流の活性化に向けた競技施設の整備
- ・あらゆる世代に対応する、健康・スポーツ発信拠点の整備
- ・遊歩道との連携
- ・避難場所等の防災機能の整備

③動線計画・ゾーニング（案）

ゾーニング図



■コミュニティと憩いのゾーン

- ・コミュニティ、防災の拠点・憩いの空間
- ・スポーツイベント等の中心となるゾーン
- ・隣接ゾーンとの一体利用、連携
- ・キッチンカー等の乗入れ

■管理施設ゾーン

- ・公園の管理等を司るゾーン
- ・クラブハウス等の設置を想定した空間（管理事務所、バリアフリースイレ）

■野球場ゾーン

- ・軟式野球、ソフトボールに対応した球場
- ・大会等への対応（2面確保）
- ・有料での利用を想定

■多目的広場ゾーン

- ・運動、イベント等に対応するゾーン
- ・様々な使い方が可能な自由度の高い広場
- ・グラウンドゴルフにも対応する規格
- ・無料での利用を想定（ダスト舗装）

(2) 下河原運動広場

①コンセプト

誰もが利用しやすい運動の場、アーバンスポーツの受け皿となり、市民活動の起点となる「Activity 拠点」づくり

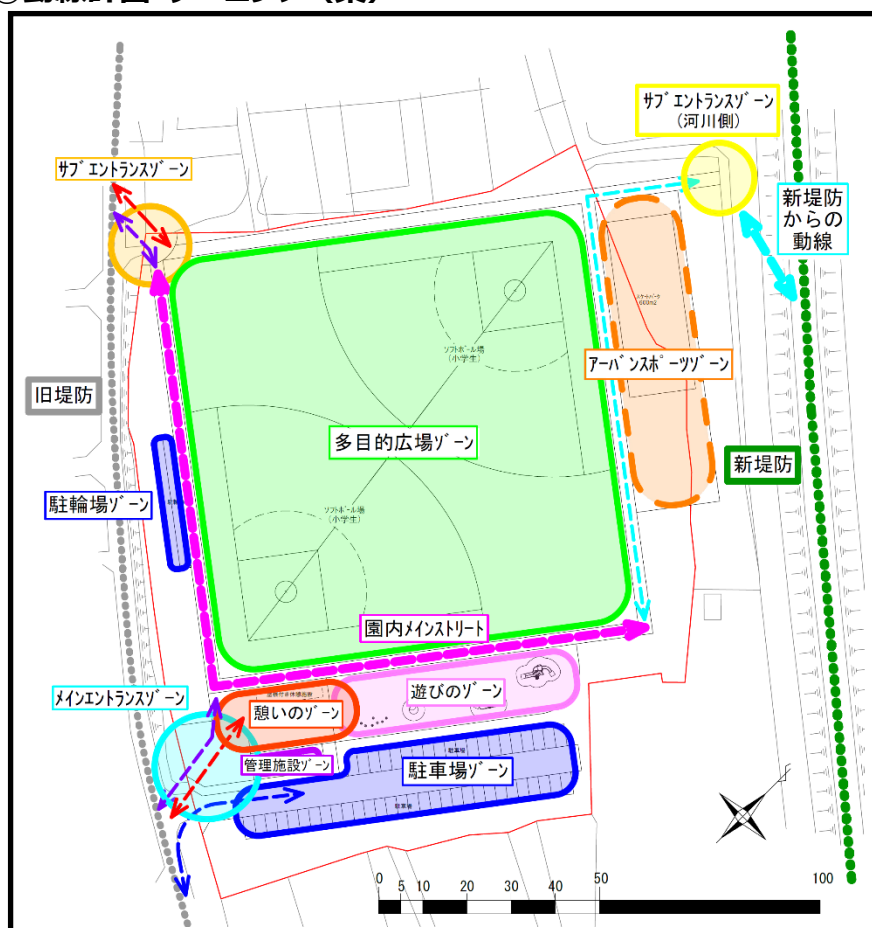
②整備方針

早期整備の進め方としては、現在の敷地内において先行して多目的広場ゾーン等を整備します。また、アーバンスポーツゾーン等の施設整備については、用地の確保等が整った段階で整備を行っていきます。

- ・子どもたちや高齢者の運動の場づくり
- ・新たなスポーツの場や市民活動スポットとなる場づくり
- ・遊歩道との連携

③動線計画・ゾーニング（案）

ゾーニング図



※ [オレンジ色破線枠]・・・将来整備施設

■憩いのゾーン

- ・憩いや遊び場見守りのゾーン
- ・キッチンカー等の乗り入れ（ブロック系舗装広場、屋根付き休憩施設、ベンチ、縁台）

■遊びのゾーン

- ・子どもの遊びのためのゾーン
- ・遊具広場
- ・大きな子供（児童）、小さな子供（幼児）のエリア分け（児童用遊具、幼児用遊具）

■管理施設ゾーン

- ・管理施設の設置を想定した空間（バリアフリートイレ、倉庫）

■多目的広場ゾーン(95m×95m程度)

- ・運動、イベント等に対応するゾーン
- ・ソフトボール(小学生2面)に対応
- ・グラウンドゴルフ(2面)にも対応する規格
- ・様々な使い方が可能な自由度の高い広場（ダスト舗装、バックネット、防球フェンス）

■アーバンスポーツゾーン

- ・アーバンスポーツに対応するゾーン
- ・スケートパーク(600㎡程度)の設置
- ・様々な使い方が可能な広場併設（休憩スペース、3on3コート等）
- （スケートパーク(セクション設置タイプ)、広場）

(3) 中川河川敷包括占用区域・遊歩道等

①コンセプト

市内外から多くの人を訪れることから、施設の充実を図る「Recreation 拠点」づくりと、周辺自治体等との広域的な連携のため、中川新堤防や旧堤防の活用により、周遊性を生かし、安全性を高めたウォーキングやジョギングコース、サイクリングコース等を構築

②整備方針

サイクリングコース等については、広域的な連携を基本としますが、早期整備の進め方としては、サイクリング等の利用者も休憩できる場所としての活用や、中川河川敷包括占用区域と遊歩道等との連携を高めることができるための施設整備を目指します。

- ・地域と連携した多様なイベントが開催できる環境の充実
- ・地域ニーズに応じた新たな魅力を発信する環境整備
- ・遊歩道等との連携
- ・旧堤防遊歩道の整備（中川遊歩道）
- ・新堤防の管理用通路の活用

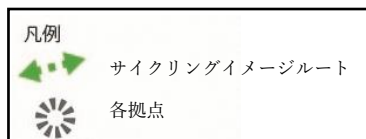
③早期整備施設（案）

中川やしおフラワーパークの中川新堤防のトイレ周辺に休憩施設等の整備を検討します。
なお、具体的な整備内容の検討については、関係機関等との協議を踏まえ進めます。

休憩施設の施設整備（例）



イメージ図



サイクリングイメージ図

7 今後の取組み

今後の取組みは、本計画は事業規模の大きさから長期的な期間を要する取り組みや今後の財政状況等により、その推進が影響を受ける場合もあることから令和 25 年度（概ね 20 年間）を目標として実施を予定する内容となっています。なお、本計画の推進にあたっては、今後の社会経済状況、少子高齢化、人口動向、市民や利用者のニーズの変化等を踏まえながら、事業ごとに検討していく必要性があると考えています。

以下、計画地における今後の取組みのイメージを示します。

STEP 1

<早期整備施設>

- 大瀬運動公園の整備（Sports 拠点）
- 下河原運動広場の整備①（Activity 拠点）
現在の下河原運動広場敷地内において多目的広場ゾーン等を整備する。
- サイクリング等の利用者に向けた休憩施設等の検討（Recreation 拠点）

<にぎわい創出>

- 関係団体と連携した既存の観光事業の促進
- 花壇管理等の市民ボランティアと協働による事業の促進
- 中川新堤防を活用したサイクリングコース等の促進に向けた検討など



STEP 2

<市内の屋外スポーツ施設>

- 下河原運動広場の整備②（Activity 拠点）
用地確保等が整った段階で、アーバンスポーツ等を整備する。
- 大原公園（野球場、テニスコート）
- 松之本公園（テニスコート）
などの屋外施設を順次、改修等を行っていく。

<にぎわい創出>

- 公共事業による施設整備（休憩場所、屋根付きベンチ等の整備）
- 堤防の周遊性を活かした親子マラソン等の開催など
- 民間活力の導入に向けた各種検討など

SDGs（持続可能な開発目標）

持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）とは、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。

本計画は、SDGs が掲げる以下のゴール（目標）の達成につながります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





中川河川敷周辺公園等施設整備計画《概要版》

2024(令和6)年3月 策定

発行：八潮市市民活力推進部スポーツ振興課
八潮市都市整備部公園みどり課

電話：048-996-2111(代表)